

- (Solsky) 2 exs.
 27. クロニセリゴカミキロ *Eumecocera unicolor* (Kano) 1 ex.
 28. ヒゲナガウスバハムシ *Stenoluperus nipponensis* (Laboissière) 1 ex.
 29. ツブノミハムシ *Aphthona perminuta* Baly 6 exs.
 30. ルリマルノミハムシ *Nonarthra cyanea* Baly 2 exs.
 31. カシルリチョッキリ *Neocoenorrhinus assimilis* (Roelofs) 1 ex.
 32. ノミゾウムシの一種 *Orchestes* sp. 5 exs.
 33. キクイムシの一種 *Xyleborini* sp. 2 exs.
 34. キクイムシの一種 *Scolytoplatypus* sp. 1 ♀

引用文献

- 西田光康, 2000. 晴れた日に降ってきた? ゲンゴロウ類. 北九州の昆虫, 47 (1): 67.
 Preston-Mafham, K., 2004. World of Animals. Vol. 25. Insects and Other Invertebrates. 128 pp. Grolier, London.

(西田光康 843-0023 武雄市武雄町昭和 280-201)

【短報】渡嘉敷島から発見されたリュウキュウシコメツキ

渡嘉敷島は、沖縄島の西、慶良間列島に所属する小島で、コメツキムシ科甲虫は、これまでに、ヨナグニチビコメツキ *Babadrasterius urabensis* Ôhira, 1994, トカシキチビヒラタコメツキ *Heteroderes amplicollis* (Gyllenhal, 1817), イハヒメサビキコリ *Agrypnus (Colaulon) miyamotoi ihai* (Ôhira, 1967), ヤエヤマサビコメツキ *Lacon (Alaotypus) yayeyamanus*



Fig. 1. *Melanotus loochooensis* Miwa from Tokashiki-jima Is., Ryukyu Isls., ♂.

(Miwa, 1934), サカグチオオヒラタコメツキ *Anthracalaus sakaguchii* (Miwa, 1929), ウバタマコメツキ *Cryptalaus berus* (Candèze, 1865), フタモンウバタマコメツキ *Cryptalaus larvatus pini* (Lewis, 1894), オキナワオオハナコメツキ *Platynychus loochooensis* (Kishii, 1979), タムラハナコメツキ *Displatynychus tamurai* (Kishii, 1974), オキナワカンシャクシコメツキ *Melanotus okinawensis* Ôhira, 1982, タカハシクシコメツキ *Melanotus takahashii*

Kishii, 1974, サメハダキコメツキ *Xanthopenthes granulipennis* (Miwa, 1934), クロヘリツヤコメツキ *Ludioschema vittiger fuscomarginatum* (Lewis, 1896), オキナワクチプトコメツキ *Parasilesis okinawensis okinawensis* (Miwa, 1928) の 14 種が知られている (Kishii, 1999; 太平, 1999; 佐々木ほか, 2002).

筆者らは、これまで渡嘉敷島から記録のなかったリュウキュウシコメツキ *Melanotus loochooensis* Miwa, 1929 を検することができたので、ここに報告しておく。

7 ♂♂ (Fig. 1), 沖縄県渡嘉敷島, 6. VI. 2019, 松村雅史採集, 鈴木互保管。

リュウキュウシコメツキは、Okinawashima [沖縄島] から記載された種であるが、現在ではトカラ列島中之島から与那国島にかけての琉球列島と伊豆諸島の八丈島に生息することが知られている。一時は、本種の正体がわからず、トカラ列島や奄美大島産のものがタンチャメクシコメツキ *M. tanchamelis* Ôhira, 1967 として記載されることもあった。Kishii (1974) は、徳之島産のものをタンチャメクシコメツキの亜種 *M. t. tamurai* としたが、後に、トカラ、奄美大島、徳之島のタンチャメクシコメツキは、リュウキュウシコメツキのシノニムとして処理する一方で、石垣島、西表島、与那国島のものは、リュウキュウシコメツキの別亜種にすべきだとしている (Kishii, 1999)。

トカラ産と八重山産の個体を比較してみると、前胸腹板突起の形状や雄交尾器の形状に大きな違いが認められるが、間を埋める島々の個体を調べてみると雄交尾器の形状には一定の傾向にあるようにも見える。この辺のところは、各地の標本をそろえた上で分析したい。

引用文献

- Kishii, T., 1999. A check-list of the family Elateridae from Japan (Coleoptera). Bulletin of the Heian High School, Kyoto, (42): 1-144.
 太平仁夫, 1999. 渡嘉敷島・座間味島のコメツキムシ採集記. 北九州の昆虫, 46: 121-123, pl. 19.
 佐々木健志・木村正明・河村 太, 2002. Coleoptera コウチュウ目(鞘翅目). 屋富昌子, 金城政勝, 林 正美, 小濱継雄, 佐々木健志, 木村正明, 河村 太編, 増補改訂琉球列島産昆虫目録: 157-284. 沖縄生物学会, 沖縄・西原.
 鈴木 互・乙部 宏, 2013. 久米島から採集された興味あるコメツキムシについて. さやばねニューシリーズ, (10): 5-12.

(鈴木 互 156-0053 川崎市中原区木月大町
 法政大学第二高等学校生物科)
 (松村雅史 901-1303 島尻郡与那原町与那原 3219-9)